

# こうふう

思いやりのある良質の医療を――

03

2024.10



## Contents

- コラム（背骨（脊椎脊髄）の病気とは……01,02
- 脊椎ドックのご案内…………… 03,04
- 外来医師一覧表 …………… 05

## 背骨（脊椎脊髄）の病気とは？

「首や腰が痛くて日常動作に困る」

「手がしびれて物がつかみにくくなってきた」

「長い距離を歩くと休みたくなる」「手が痛い」といった症状に困っている方はおられますか？

これらの症状は背骨（脊椎脊髄）に原因がある場合が非常に高いのです。一般に、脊椎の中を通っている脊髄神経は脳からの指令を手先足先へ伝える本幹です。

脊椎脊髄疾患は治療のタイミングを誤ると治療後も元に戻らない症状も出てくるため、適切な治療方法を選択し、実施していくこと脊椎外来の役目です。

脊椎外来では脊椎専門医が診察を行い、薬物療法、ブロック注射、リハビリテーションなどを行うことにより症状の改善をはかります。それらの治療で効果が得られない場合は外科手術をおすすめし、手術は専門医師が責任を持って担当し、術後も外来で慎重に経過をみます。

前述のような症状にお困りの方は一度当院の受診をお勧めします。

この撮影装置は多数の血管内治療支援機能が装備されています。とりわけ血管内手術をする上で有用な機能として次のようなものがあります。

### ■どのような治療を行っているか

当科で行っている代表的疾患と外科的手術をご紹介します。

#### 「頸椎症性脊髄症」

加齢によって生じる頸椎の変形（椎間板ヘルニア、骨棘、靭帯骨化症）に、頸椎の不安定性や外傷が加わることで脊髄神経が圧迫され発症します。主な症状は首の痛みや手指のしびれや痛み、細かな動きの低下で始まることが多く、進行すると足がしびれる、歩きにくい、尿が出にくいなども伴うようになります。治療はまず安静、薬物療法、リハビリテーションを行い、改善しない場合は手術を行います。手術は主に2つあり、首の前方から圧迫要因を除去する方法と首の後方から侵入して骨を広げて脊髄の圧迫を取り除く方法があります。どちらを行うかは各状況に応じて最適な方法を選択します。



## 「腰部脊柱管狭窄症」、「腰椎椎間板ヘルニア」

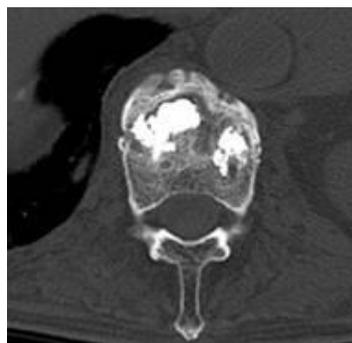
---

加齢によって生じる腰椎の変形（椎間板の膨隆、骨棘、靭帯の肥厚、すべり症、分離症、側彎症）によって脊柱管が狭小化し、その中を通っている神経が圧迫されることで発症します。主な症状は長い距離が連続して歩けない、お尻から足先までしびれる、痛みがあるなどであり、進行するとスリッパが脱げる、尿が出にくいなども伴うようになります。治療はまず安静、薬物療法、ブロック注射、リハビリテーションを行い、改善しない場合は手術を行います。当院では脳の手術で導入されている顕微鏡を用いて行い、3cm程度の切開で圧迫を取り除く手術です。腰椎に不安定性がある場合は固定術を行うこともあります。

## 「脊椎圧迫骨折」

---

加齢によって骨粗鬆症が増え、それにより脆弱な背骨が骨折することで発症します。主な症状は軽微な動きで起こる突然の激しい疼痛であり、寝返りができない、腰が曲がるなどで発見されることもあります。安静やコルセットでの治療で症状が改善しない場合は手術（椎体形成術、固定術）にて症状の改善や背骨の整復をはかります。椎体形成術は低侵襲治療として注目されており、1cm程度の切開のみで行える1時間以内で手術可能な方法です。



# 脊椎ドックは 疾患の早期発見の点でも重要です。

# 脊椎ドック

(脊椎精密検査)

脊椎(背骨)は人間の体を支え、歩行時の衝撃吸収や神経の中軸である脊髄(神経の幹)が通っている重要な器官です。

不調の原因は  
脊髄にあるかもしれません。



首や腰に不調を感じておられる方は少なからずおられます。多くの場合は、悪い姿勢や運動不足に起因するものですが、なかには、発達性頸部脊柱管、後縦靭帯骨化症、脊髄腫瘍、骨粗鬆症などのように放置しておくとうずらになる病気もあります。また、悪い姿勢や運動不足が継続すると、取り返しのつかない背骨の変形が発生することがあります。脊椎ドックにより、これらの重大な病気が潜んでいるか、あるいは背骨に変形が発生していないかどうかを明らかにして、予防策を講じていくことは、高齢になっても健康を保つために大切なことです。

脊椎ドック(脊椎精密検査)とは、痛み・しびれなどの原因を究明して、適切な治療につなげていくことを目的とした検査です。

**腰の痛み、手足のしびれ、背中の痛み、首や肩の痛み、重度の肩こり、歩くと足がだるくなるなどの症状がある方にお勧めいたします。**

脊椎ドックでは、MRI・レントゲン機能撮影等の精密画像診断法を使用し、脊椎の専門医師があらゆる角度から原因を追求して参ります。

## 脊椎ドックの流れ〈検査当日〉

### ご予約

ご予約はお電話で

**TEL 079-237-5252**

ご予約後、問診票と当日の注意事項等をお送りいたします。

### 当日の流れ

#### ① 受付



#### ② 検査説明

#### ③ 検査(放射線)



#### ④ 診察・結果説明



#### ⑤ 帰宅

後日結果票・請求書郵送(検査終了後、約2週間)

#### 異常なし

日常生活での  
注意事項を  
お知らせします。

#### 要専門医診察

専門医の診断が  
推奨されます。  
当院での受診の場合は  
ご予約をお取りします。

## 検査と費用について

脊椎ドック(脊椎精密検査)では、食事を抜く必要はありません。

事前に電話予約が必要となります。

● 脊椎ドック 22,000円(税込)

所要検査時間 約1時間

#### ・頸椎レントゲン(4方向)

頸椎の変形、配列、動きを調べます。

#### ・腰椎レントゲン(4方向)

腰椎の変形、配列、動きを調べます。

#### ・全脊椎CT

脊髓を立体画像として撮影し、骨棘や石灰化などを調べます。

#### ・全脊椎MRI

脊髓や神経に異常がないかどうか、圧迫がないかどうかを詳細に検査します。

#### ・骨塩定量

骨粗鬆症がないかどうか(骨がもろくないかどうか)を検査します。

※脳ドックのオプション検査としても受診可能です。

※診察と結果説明は、火曜日、金曜日(14:00~15:00)に行います。

※救急患者様の診察を優先しておりますので、お待たせすることがあります。ご了承ください。

**結果説明は脊椎脊髓外科専門医がお伝えします**

## 外来担当表

		午 前 診察時間 9：00～12：15	午 後 診察時間 15：30～18：00
月曜日	1 診	脳神経外科 副院長	脳神経外科 院長
	2 診	循環器内科 岩坂	
	3 診	脳神経外科 担当医	脳神経外科 担当医
	4 診	糖尿病内科 平松	
火曜日	1 診	脳神経外科 院長	脳神経外科 副院長
	2 診	泌尿器科 投薬 松本	循環器内科 岩坂
	3 診	脳神経内科 銅山	泌尿器科 投薬 松本
	4 診	消化器内科 呑海	脳神経外科 山上
水曜日	1 診	脳神経外科 院長	
	2 診	泌尿器科 投薬 松本	
	3 診	脳神経外科 (1・3) 10：00～牟礼	
	4 診	消化器内科 福永	
木曜日	1 診	脳神経外科 山上	脳神経外科 院長
	2 診	泌尿器科 投薬 松本	循環器内科 岩坂
	3 診	脳神経外科 担当医	呼吸器内科 投薬 堀田
	4 診	物忘れ外来 榎林	物忘れ外来 (2・4) 榎林
金曜日	1 診	脳神経外科 院長	脳神経外科 副院長
	2 診	泌尿器科 投薬 松本	循環器内科 岩坂
	3 診		泌尿器科 投薬 松本
	4 診		脳神経外科 山上
土曜日	1 診	脳神経外科 副院長	
	2 診	脳神経外科 連	
	3 診	脳神経内科 奈田	
	4 診		

受付時間：午前 8：30～12：00／午後 15：00～17：30（火・金は 14：00～17：30）

※窓口は午前 8：30～開きます。

外来休診：水・土 午後および日・祝日

○認知症（精神・神経科医による行動・心理症状（BPSD）のコントロール）外来

…毎週土曜日午前・第 4 火曜日午後 予め予約が必要となります。